

●北京外国语学院 沈茅一主编 高等教育出版社

日本語

1

日 本 语

1

GF 137/60

沈茅一 (主编)

朱 春 跃

远藤明生

合 编

高 等 教 育 出 版 社

内 容 提 要

本书供初学日语者使用，全书有语音、基础语法和课文共17课。课文采用会话体，内容为日常生活的场面。目的是为初学者打下良好的日语基础。

责任编辑 尹学义

(京) 112号

日 本 语

1

沈 茅 一 (主编)

朱 春 跃

远藤明生

合 编

•
高等教育出版社出版

新华书店总店北京科技发行所发行

北京市顺义县印刷厂印装
•

开本850×1168 1/32 印张5.875 字数152 000

1990年8月第1版 1992年4月第3次印刷

印数 6 013-7 123

ISBN 7-04-003145-0/H·352

定价 2.20 元

前 言

本书是应成年人学习日语的需要而编写的。全书共分六册，一、二册为初级教程，主要学习基础语音、语法、词汇等，课文采用会话体，在内容上主要是日常生活的场面，力求兼顾语法体系和交际需要，每课附有简单的日常生活用语。三、四册为中级教程，主要对一、二册所学的语法、词汇等进行巩固、补充和提高，并使之系统化。这一阶段的课文编写，选用了各类生活、知识性的浅显易懂的文章，逐步增加有关日本情况的内容，并根据需要，对选用的文章部分地进行了删减、改写。五、六册为高级教程，侧重于提高阅读、理解及翻译、表达的能力，课文全部选自原文。包括语言、文化、科技、自然科学、人物介绍、游记以及小说、随笔、评论、报导等各种体裁的文章。考虑到自学的困难，对原文中过于生僻的词语或较抽象的表达进行了适当的删减和改写。全部六册学完之后，可达到大学本科生从头学起班三年级上学期的水平。

为了帮助学习者掌握所学知识，本书尽可能详细地进行了注释，并针对难点、重点安排了“语法和句型”，第三册开始增加“词和词组”，以便进行系统的语法、句型、词汇的学习。

每一课都安排有形式多样的练习，并在每一阶段安排了“自我测试题”，以便读者自己复习、检查掌握的情况（在一、二册中还编有复习本阶段语法和句型的复习课）。

本书配有教学参考书，讲解语音部分的学习重点及方法，并编入课文参考译文、习题答案、自我测试题答案及课文总词汇表、语法及句型索引等，为读者使用本书进行自学提供了更多的方便。

从第三册起，为扩大词汇量和知识面，提高阅读理解的能力和速度，每课都安排了一至二篇难度略低于课文的“课外阅读”，其中的难点以“课外阅读注释”的形式予以解答。此外，三、四册每课还安排了有关日本和日本语的“小知识。”

本书正式出版前曾在北京外国语学院函授班、夜大学及公外教学中试用多年，并在此基础上经过反复讨论、修改而成。它除了适用于初学者外，也适用于已有一定日语基础的自学者及日语专业的学生、第二外语学习者，还可用作日语教师备课的参考。

本书曾数度易稿，书中的课文注释、语法、句型、词汇的选择分类、用法解释及对比归纳等集中了作者多年来的教学经验，吸收了当前国内外日语界的一部分最新研究成果，同时，还得到了我院几任日本文教专家的帮助和指导。但限于作者的水平，加之编写自学教材是一次新的尝试，因此书中难免有疏漏、不妥之处，诚恳希望广大读者和同行提出宝贵意见。

本书由北京外国语学院副教授沈茅一主编，参加编写的还有讲师朱春跃以及我院文教专家远藤明生。同时也得到了我院文教专家林哲也先生的帮助，在此敬表诚挚的感谢。

作 者

1990年1月

目 录

导言 日语的文字和音节	1
第1课 あ行、や行、わ行	7
发音要领	8
词例	9
书写法	10
练习	11
第2课 か行、が行、さ行、拨音	12
发音要领	12
词例	14
书写法	15
练习	16
第3课 た行、さ行、だ行、长音	17
发音要领	18
词例	19
短语和短句	20
书写法	21
练习	21
第4课 な行、は行、ぱ行、ば行	23
发音要领	23
词例	25
短语和短句	26
书写法	26
练习	27

第5课 ま行、ら行、拗音	29
发音要领	29
词例	31
短语和短句	32
书写法	33
练习	34
第6课 促音、外来语中的特殊音节	36
发音要领	36
词例	36
练习	40
第7课 元音的无声化, 日语的声调 (アクセント)	41
元音的无声化	41
日语的声调 (アクセント)	42
短语和短句	46
练习	46
日语基础知识	47
第8课 これは新聞です	52
生词	53
课文注释	55
语法和句型	56
一、指示代词 これ、それ、あれ、どれ	56
二、格助词 の(1)	56
三、判断句	57
四、副助词 も	59
生活用语	59
数词: 基数的说法, 课数的说法	59
练习	60

第9课 わたしは1年2組の学生です	64
生词	65
课文注释	67
语法和句型	69
一、指示代词 ここ、そこ、あそこ、どこ	69
二、指示代词 こちら、そちら、あちら、どちら	69
三、并列助词 と	70
四、格助词 が(1)及疑问词作主语的疑问句	71
五、指示连体词 この、その、あの、どの	72
六、人称代词	73
生活用语	74
数词: 人数的说法, 页数的说法	74
练习	75
第10课 この通りには店がたくさんあります	78
生词	80
课文注释	81
语法和句型	82
一、表示存在的动词	82
二、存在句	84
三、格助词 に(1)	87
四、终助词 ね	87
五、终助词 よ	87
六、(某物) を + ください	88
生活用语	88
数词: 数一般物品, 数薄的物品, 数鞋、袜, 数人民币	89
练习	91
第11课 天安門	93
生词	95

课文注释	97
语法和句型	98
一、形容词	98
二、形容动词	100
三、描写句	101
四、格助词 から、まで	103
五、接尾词 め	103
生活用语	104
数词: 时间的说法	104
练习	106
第12课 北京外国语学院 (復習)	108
生词	109
生活用语	111
练习	111
自我测试题 (一)	113
第13课 毎朝 6時半に起きます	116
生词	117
课文注释	118
语法和句型	119
一、动词	119
二、格助词 に (2)	123
三、格助词 で (1)	123
四、格助词 を (1)	124
五、格助词 へ	124
六、形容词的副词法	125
生活用语	125
数词: 年、月的说法, 年龄的说法	125
练习	128

第14课 映画を見に行きました	130
生词	131
课文注释	133
语法和句型	134
一、助动词だ及动词过去式	134
二、格助词に(3)	135
三、形容词连用形(1) + なる	135
四、助动词です的过去式	136
五、副助词か	137
六、格助词と(1)	138
七、形容词过去式	138
八、あまり	140
生活用语	140
数词: 日期和星期的说法	140
练习	142
第15课 香山へ行きましょう	144
生词	146
课文注释	148
语法和句型	150
一、动词连体形	150
二、~つもりです	150
三、助动词そうだ(传闻)	150
四、~ませんか	151
五、~ましょう	151
六、~でしょう	152
七、并列助词や	152
八、副助词など	153
九、格助词で(2)	153

十、(A)も(B)も～	153
十一、～うちに	154
生活用语	154
数词: 气温的说法, 次数的说法	154
练习	155
第16课 テレビを見ています	158
生词	159
课文注释	161
语法和句型	163
一、动词连用形(五段以外的动词) + て	163
二、五段动词连用形音便	163
三、动词进行态～ています	164
四、～てください	165
五、助动词たい与たがる	166
六、～てほしい	167
七、并列助词たり	167
八、～てみます	168
生活用语	168
数词: 电话的说法, 频道的说法	169
练习	170
第17课 自己紹介(復習)	171
生词	172
生活用语	174
练习	175
自我测试题(二)	177

导言 日语的文字和音节

日语的文字是汉字加假名的文字。汉字是古代从我国流传到日本的，一般用来表义，假名是汉字的偏旁部首或草书演变而成的，一般用来表音。

现代日语的假名共有四十六个，再加上附有“浊音”和“半浊音”符号“ㇿ”、“゜”的二十五个，实际上是七十一一个。

假名又有两种字体，一种叫“平假名”，另一种叫“片假名”。平假名是汉字的草书演化而成的。

如：

あ 安 安 あ あ う 宇 宇 う う

片假名是假借汉字楷书的偏旁部首而形成的。

如：字→ウ 江→エ

加→カ 久→ク

片假名一般用于外来语词汇、动植物名称、某些特殊词汇及电报等。

另外，日语中还使用一种“罗马字”，一般用于电报、通讯、商标、名片等。电脑及文字处理机也多具有罗马字输入的功能。

日语的假名就是它的字母，习惯上分为清音、浊音、半浊音和拨音等（不是语音学的分类），基本上以一个假名代表一个音节，但也有两个假名拼写而成的音节，如拗音。

日语一般被认为是“等音节语言”，它的每一个音节的时值是大体相等的。这一点对初学者尤为重要。

把清音——即不带附加符号的四十六个假名（包括拨音“ん”）

按一定的规律列成一个图表，这个图表叫作“五十音图”。

五十音图中横排叫作“行”，竖排叫作“段”。每行、每段都以第一个假名命名。如：“あいうえお”叫作“あ行”；“あかきたなはまやらわ”称为“あ段”。五十音图要横排、竖排都能背诵，这对语音的掌握和今后的语法学习及查字典等都是十分必要的。

清音五十音图

平 假 名

段 行	あ 段	い 段	う 段	え 段	お 段
あ行	あ a	い i	う u	え e	お o
か行	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko
さ行	さ sa	し shi	す su	せ se	そ so
た行	た ta	ち chi	つ tsu	て te	と to
な行	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no
は行	は ha	ひ hi	ふ fu	へ he	ほ ho
ま行	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo
や行	や ya		ゆ yu		よ yo
ら行	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro
わ行	わ wa				を o
拨音	ん n				

片假名

行	ア 段	イ 段	ウ 段	エ 段	オ 段
ア行	ア	イ	ウ	エ	オ
カ行	カ	キ	ク	ケ	コ
サ行	サ	シ	ス	セ	ソ
タ行	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ行	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ行	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ行	マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ行	ヤ		ユ		ヨ
ラ行	ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ行	ワ				ヲ
撥音	ン				

在五十音图以外，还有浊音、半浊音及拗音。

浊音 表名

行	あ 段	い 段	う 段	え 段	お 段
が行	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go
ざ行	ざ za	じ ji	ず zu	ぜ ze	ぞ zo
だ行	だ da	ぢ ji	づ zu	で de	ど do
ば行	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo

片 假 名

行 \ 段	ア 段	イ 段	ウ 段	エ 段	オ 段
ガ行	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
ザ行	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
ダ行	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ行	バ	ビ	ブ	ベ	ボ

半 濁 音 表

平 假 名

行 \ 段	あ段	い段	う段	え段	お段
ば行	ば pa	び pi	ぶ pu	べ pe	ぼ po

片 假 名

行 \ 段	ア段	イ段	ウ段	エ段	オ段
パ行	パ	ピ	プ	ペ	ポ

(平假名表中罗马字母即为该音节“罗马字”拼写法。)

拗 音 表
平 假 名

や	ゆ	よ
きゃ kya	きゅ kyu	きょ kyo
しゃ sha	しゅ shu	しょ sho
ちゃ cha	ちゅ chu	ちょ cho
にゃ nya	にゅ nyu	にょ nyo
ひゃ hya	ひゅ hyu	ひょ hyo
みゃ mya	みゅ myu	みょ myo
りゃ rya	りゅ ryu	りょ ryo
ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎょ gyo
じゃ ja	じゅ ju	じょ jo
ぢゃ ja	ぢゅ ju	ぢょ jo
びゃ bya	びゅ byu	びょ byo
ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴょ pyo

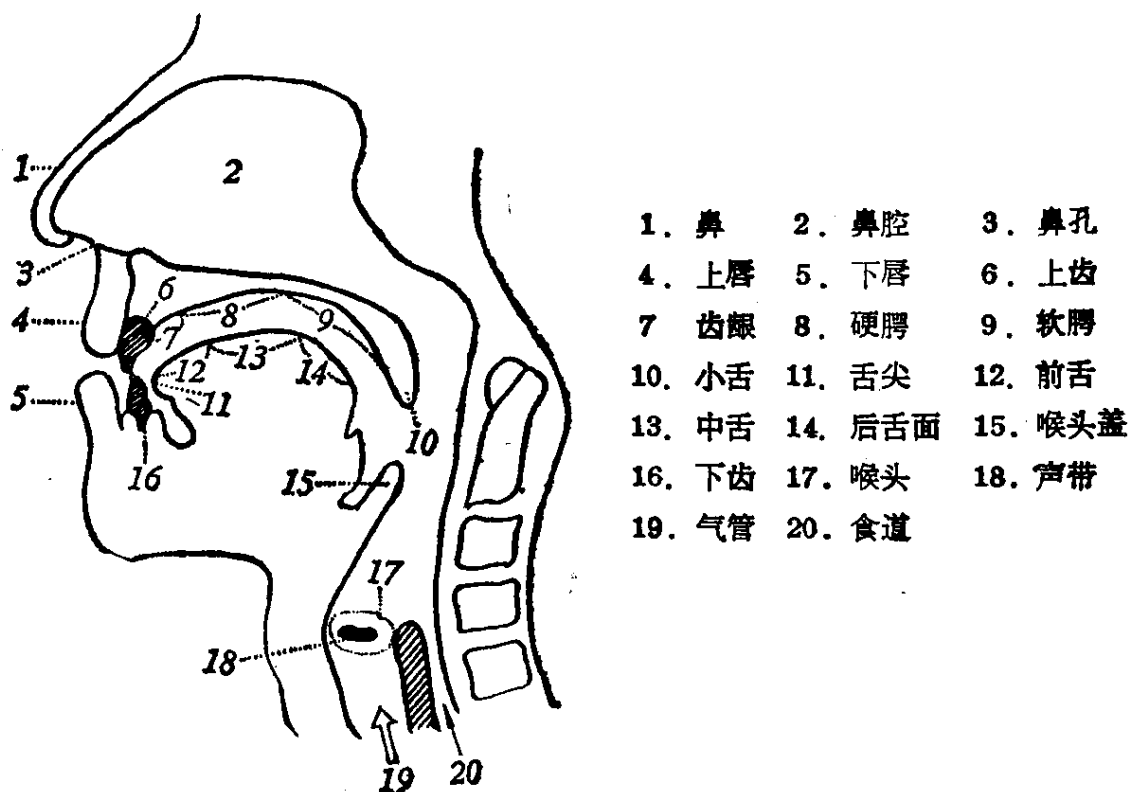
片 假 名

ヤ	ユ	ヨ
キャ	キュ	キョ
シャ	シュ	ショ
チャ	チュ	チョ
ニャ	ニユ	ニョ
ヒャ	ヒユ	ヒョ
ミャ	ミユ	ミョ
リャ	リュ	リョ
ギャ	ギユ	ギョ
ジャ	ジュ	ジョ
ヂャ	ヂユ	ヂョ
ビャ	ビユ	ビョ
ピャ	ピユ	ピョ

把以上四个表中发音相同而写法不同的音节相归并，日语共有普通音节101个，另外再加上三个“特殊音节”：长元音音节，即“长音”；鼻音音节，即“拨音”（已在表中，不另计数）和长辅音音节，即“促音”。这样日语的音节实际上共有103个。

为了学习方便起见，本书将以音节为单位安排每课的内容。

发音器官示意图



附：本节术语解释

1. 音节 语言中的节奏单位。在日语中只有拗音音节是由两个假名拼写而成的，其它所有音节（包括特殊音节“长音”、“促音”、“拨音”）都由一个假名字母来表示。原则上每一个音节的长度都大体相等。在日本学界，有人把这里的音节称之为“拍”（译作“音拍”）。

2. 元音 声带颤动，气流在口腔的通路上不受任何发音